

昨年度はACCESSの基礎と応用を「さら〜っと」教えてもらった。
 先生によると、ACCESSというデータベースソフトは奥が深く、
 “業務”をまるごと作り上げるようなこともできるという。
 そこで、せっかく教わるなら自分の仕事に役立つように
 “運用実績管理業務”を作ってみようと考えた。
 目標は年度末の完成！（なんて、公言してイイんかなあ…）

これは、アクセスにあくせんす（悪戦す）る苦闘の日記である。（^^;）

4月X1日

冒頭のような動機で、ACCESSによる“運用実績管理業務”を作ると決めた。
 しかしどっから取りかかったらよいのか？
 「よおし、テキストをざ〜っとおさらいだ！」
 『テーブル』『フォーム』『レポート』『クエリ』♪（飛ばし読み）…
 …『マクロ』。ふう〜、（『マ黒』どころか、頭の中が『マ白』になっている…）
 「だめだっ！ データベースに詳しい先輩に教えるを請うことにして、今日は寝る！」（-_-） zzz…

4月X2日

野:「先輩、データベース(DB)について教えて！」
 先:「あれえ、DB(確定給付年金)は君の専門じゃなかったっけ？」
 野:「先輩！ 冗談コイてる余裕ないっすよお。業務まるごと作るってことになってるんだから。」
 先:「よしよし、手取り足取り教えてやる。そのかわり完成したら焼肉オゴレよ。」
 先:「(うむを言わず)まずノートをだせ。そして、最初のページに“業務の内容”を書くのだ。」
 野:「業務内容ですね。え〜と、『受託機関の運用実績を管理する』と、これでOK！」
 先:「不十分だ！ もっと具体的な言葉を使うの！ 『管理』とか『実績』なんてのは特にダメ。」
 野:「え〜!？」 (その後、NG数回…を経てやっと1ページ目ができた)

“業務内容”

- ・基金が資産運用を委託している各**運用機関**の**月別・資産別の収益率**および**残高**を集積する。
- ・市場との比較ができること。そのために、各資産の月別の**市場騰落率**(ベンチマーク)も集積する。
- ・期間集計ができること。**月別・四半期・年次**で次の資料を作る。
 - (1)運用機関別資産別収益実績(ベンチマーク対比)・**基金全体**も集計する。
 - (2)運用機関別資産別残高表(構成比も表示)・**基金全体**も集計する。
- ・基金全体の「**政策アセットミックス**(各資産の構成比)」を登録しておき、実際の資産構成と対比する。

先:「次は、既存の帳票あるいはこれから作成する帳票のイメージから管理するデータの情報を集める。」

野:「この帳票が“運用実績管理”の集大成です。はい。」

先:「ほ〜お。なかなかの力作じゃない。これが、すべてを物語っているってわけ？」

野:「えへん！ そうですよお。ここにはない情報っていったら、運用機関ごとのガイドラインくらいか。この報告書は月次だけど、四半期、通期も同じレイアウトで作るよ。」

先:「キミって、ひょっとして仕事少なくない??」

野:「お、おおきなお世話ですっ！ それより、これで何をすればいいんスか？」

先:「まず、“行”の情報からデータ項目の関係を洗い出すんだ。KEYも見つける。」

野:「???…」

先:「やるうちに慣れるから。じゃボクがやってみせるね。このナントカ銀行とかナントカ投資顧問っていうのは、項目の名前は?コードで識別してないの?」

野:「項目名とすれば『ファンド名』、識別って入力するときのこと?それなら『ファンドコード』です。」

先:「この『収益率』が横にいくつかあるね。“国内債券”とか“外国株式”とか、これらはまとめて何ていうの?コードはあるの?」

野:「それは『資産区分』って呼んでいます。入力コードは意識したことないなあ。」

先:「いちおう『資産区分コード』ってしておこうか。そうすると“国内債券”とかが『資産区分名』となるな。二列目の“月間収益率”が全体だな。これは一つの資産区分と考えられるの?」

野:「そうですね。呼ぶなら『全資産』っていいですね。」

先:「時価総額ってところに、同じような繰り返しがあるね。ただ、こっちには“短期資金等”っていうのがあんだけど、これも『資産区分』なの?」

野:「はい、それも資産区分のうちです。」

先:「なんで収益率のところには表示してないの?」

野:「重要性が低いからです。昔は“貸付金”など、その他の資産も利回りが稼げたんですが、今はほとんど全体に影響がないほどですから、まとめて“短期資金等”とっています。残高(時価総額)や構成比は捉えたいので表示するんです。」

先:「だいたい分ったよ。ところで、“時価総額”の下の“全体構成比”っていうのは?」

野:「これは、このファンドの基金全体に対する時価総額構成比です。各資産区分の下の構成比は、その資産がファンド内に占める構成比です。」

先:「…カキ、カキ、カキ、…「よし、できたぞ!」」

月間のほか四半期・年間あり

平成××年××月

運用実績報告〔月間〕

(単位:百万円)

	総合収益 (百万円)	月間 収益率(%)	資産区分別 収益率(下段:超過収益率)				時価総額 全体構成比	下段:(受託資産内構成比)(%)				短期資金等	
			国内債券	国内株式	外国債券	外国株式		国内債券	国内株式	外国債券	外国株式		
信託銀行	三ツ星信託銀行	132	0.97	-0.22	0.35	2.18	4.07	13,718	4,232	4,789	2,021	1,987	689
	まるごとB銀行	34	1.33	0.10	-0.25	-0.13	-0.30	21.24	30.85	34.91	14.73	14.48	5.02
	信託銀行計	166	1.02	0.01	0.65	2.01	3.50	2,533	799	628	441	593	72
				0.33	0.05	-0.30	-0.87	42.95	31.54	24.79	17.41	23.41	2.84
投資顧問	ニコニコ投資顧問	-6	-0.14	-0.14				4,009	3,934				75
	PQインターナショナル	36	1.09	0.18	1.11			2.96	98.13				1.87
	観音アセットマネジメント	-3	-0.15		0.51	-0.15		3,309		3,247			62
	ポンポコ投資顧問	97	2.36		0.11	2.42		2.55		98.13			1.87
	剣木アセットマネジメント	112	4.16				4.33	2,269		2,203			66
	チョコレート投資顧問	142	4.96				5.08	1.56		97.09			2.91
	投資顧問計	378	1.96	-0.14	0.60	2.42	4.72	19,233	3,934	5,450	3,998	5,380	471
				0.18	0.00	0.11	0.35	32.04	20.45	28.34	20.79	27.97	2.45
	基金計	544	1.53					35,484	8,965	10,867	6,460	7,960	1,232
								100.00	25.26	30.63	18.21	22.43	3.47
ベンチマーク			為替(対ドル)	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	政策アセット					
			6.07	-0.32	0.60	2.31	4.37	乖離幅→	-0.74	0.63	0.21	0.43	-0.53

野;「う～む。このアンダーラインは？」

先;「それは、キー(KEY)候補っていうの。その行の情報を一意にする項目なんだよ。」

野;「このかぎカッコは？」

先;「それは、繰り返しになっている項目を、まとめて表現してあるんだ。ま、見方はゆっくり教えるから、今日はここまでにして、今日の分の“焼肉”食べにいこう！！」

野;…(おそろおそろ、ディリーヤマザキで買った『焼肉弁当』を差し出す)…「これでご勘弁。」

先;「…う、なんでボクの好物知ってるの!？」〔有名じゃん…(^;) 〕

野;「(…ふむ、これはナンだかおもしろそうだが、でも、いつになったらパソコン使うのかなあ?)」

先輩の書き出したノート。

アンダーラインは“KEY候補”ということ。

かぎカッコ{ }でくっつけたのは、反復している項目をあらわしている。

「運用実績報告」より

<明細行より項目>

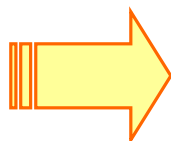
- ・ファンドコード, ファンド名, 総合収益,
 {資産区分コード, 資産区分名, 収益率(全資産, 国内債券, …)},
 {資産区分コード, 資産区分名, 超過収益率(全資産, 国内債券, …)},
 {資産区分コード, 資産区分名, 時価総額(全資産, 国内債券, …, 短期資金等)},
 {資産区分コード, 資産区分名, 構成比(全資産, 国内債券, …, 短期資金等)}

<集計行より>

- ・信託銀行計, 《明細と同じ》
- ・投資顧問計, 《明細と同じ》
- ・基金計, 《明細と同じ》

<後段より>

- ・年月, {ベンチマーク(為替, 国内債券, 国内株式, 外国債券, 外国株式)}
- ・{政策アセット(国内債券, 国内株式, 外国債券, 外国株式, 短期資金等)},
 {乖離幅(国内債券, 国内株式, 外国債券, 外国株式, 短期資金等)}



To be continued...